UBE NIPPO
このまちメディア
宇部日報
1月31日 月曜日

発行所　宇部日報社
本　社　〒755−8543　宇部市寿町2丁目3番17号
代　表　☎0836（31）4343

©宇部日報社 2022

総合ギフト
万栄
まんえい
ご出産内祝
快気祝・ご婚礼引出物
慶弔ギフト（満中陰志）
ゴルフコンペ、グラウンドゴルフ
ボウリング他各種景品
宇部市西梶返3丁目12-10
（神原公園交差点東へ100mサンライフ宇部前）
TEL0836-33-5522
℻0836-33-5523

きょうの紙面

バレンタイン商戦本格化　❷
宇部高探究科、研究成果を披露　❸
三浦房紀さん「防災徒然日記」　❺
情報やまぐち
詩の創作ワークショップ　❽
山陽小野田
飲食店は飲み会のイメージ悪化を懸念　⓫

電子版アクセスランク　（昨日分）
①30日速報・新型コロナ、県内で新たに383人
②29日速報・新型コロナ、県内感染は388人
③29日掲載・新型コロナ、県内感染は347人
④29日掲載・重点措置で商議所に相談相次ぐ
⑤29日掲載・県警察学校卒業式、55人が決意新た
http://www.ubenippo.co.jp/

購読のお申し込み
（平日8:30〜17:30）　0120-334946

中国水工が「くるみん」認定

仕事と子育ての両立を実現

学術研究・専門技術サービス業で県内初

宇部市居能町1丁目の総合建設コンサルタント・環境計量証明事業の中国水工（石﨑一雄社長）が、子育てサポート企業として、山口労働局から「くるみん認定」を受けた。認定企業は県内で26社目、学術研究・専門技術サービス業では初めて。

くるみん認定の通知書を持つ石﨑社長（右）と津﨑主任（中国水工で）

くるみんは、次世代育成支援対策推進法に基づき、企業が従業員の仕事と子育ての両立を図るための行動計画を立てて実施し、一定の基準を満たして厚生労働大臣（都道府県労働局長に委任）の認定を受けた場合に表示できる認定マーク。

同社の従業員は69人（うち有期雇用労働者は23人）で、男性は50人、女性は19人。かつては結婚・出産で退職する女性が多かったが、ワーク・ライフ・バランスの向上で働きやすい企業を目指し、2018年10月～21年9月の行動計画を策定。育児休業、同給付、産前産後休業などの周知と、育休中の従業員への情報提供・円滑な職場復帰の支援に取り組んだ。

具体的には20年9月の社内業務報告会で女性活躍の推進状況を発表。育児・介護休業規定の変更内容を社内ネットワークで周知した。「産休・育休復帰支援面談シート」を使って子育て中の従業員と面談し、制度も説明。また、育休中の従業員が月に1度、住民税納付のため来社した折に、社員情報や改訂規則、行事などの様子を伝えた。「育児復帰支援プラン」を基に、本人の要望も踏まえて復帰しやすい環境も整えた。

石﨑社長は「会社は従業員の夢と希望にあふれている場。戦力になる人に長く勤めてほしい。働きやすい職場は人材確保の観点からもアピールポイントになるし、そんな企業が増えれば地域の発展にもつながると思う」と話す。環境改善に中心的に携わった津﨑美佳総務部主任は「育休中の従業員が子ども連れで来社するなど、復帰しやすい雰囲気になってきた」と言う。同社では6時間の短時間勤務も、子どもが小学3年生までと手厚くし、現在女性2人が利用している。

計1年半の産休・育休を取得した女性従業員は「周囲のサポートのおかげでスムーズに休業に入れ、一番子どもの変化が大きい時期を一緒に過ごせて良かった」と感謝。家にこもりがちな育児中、月に1度会社に行くことでつながりが途切れず、仕事復帰の際も「壁を感じることは無かった」と振り返る。子どもの予防接種で「子の看護休暇」を取った男性は「なかなか子どもたちの日中の様子に触れられなかったので、有意義な時間だった。子どもが急病になった場合にも心強い休暇制度」と話す。（松原）